

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,350,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,841.95㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,972	13,659	15,050	13,966	13,795
	移動児童館利用者数	2,467	2,099	1,199	2,450	2,955
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	22	22	18	20	15
	開館日数(単位:日)	150	145	151	150	154

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、嘱託職員(1名)、臨時職員(2名)。 ③児童館の機関紙「わんぱくっこ」・「幼児向け日程表」の発行・配布、児童館ホームページ掲載。 ④定期的にアンケートを実施するほか、ご意見箱を設置。改善する点は真摯に対応するよう努めた。アンケート調査結果は館内に掲示(公表)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②毎月1回の安全点検と日常点検を実施。 ③利用者不在時の消灯・昼休みの消灯、室内の温度管理を頻繁に行い、節約・節電に努めた。工作の材料に廃材を使用するよう努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②適切に実施。危険個所の点検により不具合があった場合はその都度修繕。駐車場の補修工事等、できる限り、職員が迅速な修繕を行うよう努めた。必要に応じて、指定管理者(法人)と岐阜市と協議の上、整備を進めている。その他、おもちゃ病院を活用。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①「岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規定」等に沿って適切に実施。求めに応じて情報の公開に努めた。 ②、③問題なく履行されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	①平成24年7月3日～7月10日 幼児クラブ(1歳児)参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。回答者数48人(回収率80%) ②平成24年7月5日～7月12日 幼児クラブ(2, 3歳児)参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。回答者数38人(回収率76%)
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブはいかかでしたか ①全部楽しかった。季節に合ったイベントで親子とも楽しめた。家ではできない事ができて良かった。子どもの面倒をよく見てくれたので助かった。先生が元気で気持ちがいい。とても親切に指導してくれた。この年代のクラブは30分のところが多い中、1時間たっぷり遊べてよかった。慣れたか慣れないかのところで終わり淋しい。隔週でよかった。 ②毎回楽しい時間を過ごせてよかった。遊びながらルールを守ることも学ぶことができ、とても有意義だった。子どもの成長に合わせた遊びがあり、参考になった。「今日は児童館」と子どもが楽しみにしていた。我慢ができるようになった。託児が助かった。上の子との時間がとれてありがたかった。所長のお話は心に響いた。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 ①もう少し長い時間がいい。毎週あるとうれしい ⇒1歳児の集中時間は60分が限度と考えます。希望者全員を受け入れるために隔週の対応となります。 雨の日、カラフルタウンの駐車場は遠い ⇒他の児童館と比べ駐車場は多い方です。カラフルタウンに協力いただき特別にとめさせていただいている現状をご理解ください。 こわれたおもちゃを直してほしい ⇒毎日、清掃・点検を行っています。不具合があれば修理します。 ②もっと回数が増えるとよい。もっと長く遊べるとよい ⇒希望者全員を受け入れるために隔週の対応となります。 今まで通りいろいろな行事をお願いしたい ⇒職員が知恵を絞って行事を企画していきます。 携帯サイトがあるとよい ⇒予算、技術的な問題も加味して検討します。 入館カードを書くときに赤ちゃんを置けるところがあるよい ⇒職員がフォローします。申し出ください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			S	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	SS	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	SS	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>幼児(含む保護者)を対象とした新たな事業を企画・実施した。参加者は徐々に増えつつあるが、参加者の感想は上々である。(ロディーヨガ、スキンシップタイム)</p> <p>岐阜県(林政部)が強化事業として取り組んでいる『木育』(木とふれあい、木に学び、木と生きる)に賛同して、岐阜県が実施する「木の玩具貸し出し事業」に応募して、児童館内に木育コーナーを設置し、幼児・児童に木の玩具に触れる機会を作るとともに、職員にも木育の研修を受講させ事業の充実に努めた。また、ボランティアによる単発的な「おもちゃ広場」を開催して優良玩具(木製)に触れ、知ってもらう機会を設け、高評価を得ている。</p> <p>小学生向けには新しい企画を行事に取り入れ利用促進を図った。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>前期に引き続き、ほとんどの事業を継続して、充実に努めた。特に地域住民に対しては、自治会連合会等を通して児童館事業の啓発に努め、利用促進を図った。</p> <p>地域住民及び地域内にある大学との連携を良好に維持し、日常のボランティア及び、大学生に企画運営を委ねた行事等多くの方々に支援を仰いで、児童館事業の充実に努めた。</p> <p>前期統計で利用者の微減があったため、地域及び小学校等の協力を得て、利用者増を図り利用者数の増加が見られた。</p>
今後の取組み	<p>児童館事業に関しては、職員を研修に積極的に派遣する等、資質の向上に努め、利用者の満足度の向上(利用者増)を目指していきたい。</p> <p>利用者の意見として圧倒的に目立つのは、駐車場の問題である。隣接するカラフルタウンに協力をえているものの、30～40m離れていることに不満を訴えてくる利用者も多く、この問題は利用者が増加すればする程、苦情が増える恐れもあり、当施設での対応策も見当たらず、苦慮している。</p>

●所管課の意見

児童館の機関紙の配布やホームページ掲載等による広報活動を実施。
ロディーヨガ、スキンシップタイム等、幼児及び保護者を対象とした新規事業を実施。館内に木育コーナーを設置するほか、ボランティアによる「おもちゃ広場」を開催した。
利用者ニーズに応え幼児クラブを増設、母親向けの講座の充実に努めるとともに、妊産婦と夫を対象にしたマタニティスクールを継続実施した。
事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。
来館利用者数(児童館担当地区の人口増減率で補正後)の実績113.2%(対前指定期間比)のため、「利用促進、利用者増の方策」をS評価とする。
高齢者福祉センターとの合築の特徴を生かし、高齢者との交流事業を継続して実施した。
地元大型商業施設での移動児童館事業を継続して実施し、事業を定着させるとともに、その機会を利用してパンフレットの配布、施設紹介等の児童館の周知に努めた。また、地域の大学生ボランティアとの協力・連携も継続して行い、ボランティアの育成に効果をあげている。その他、地元の関係機関との交流や地域の行事に積極的に参加、支援、連携し、地域に貢献した。

●指定管理者評価委員会の意見

事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。
なお、広報の方策として、岐阜市の子育て支援サイトである「ぶりあネット」の活用も検討していただきたい。